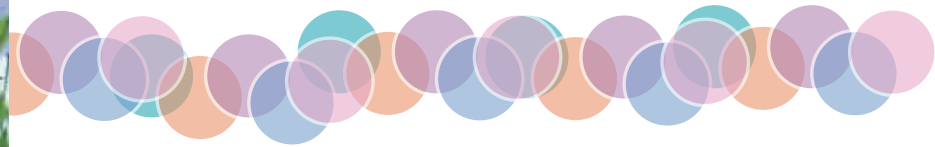




# リネンサプライ



LINEN SUPPLY



一般社団法人  
日本リネンサプライ協会

## リネン製品とは



「リネン」とは、亜麻の繊維を原料とした織物のことで、日本では、一般的に麻製品全般を指しています。その歴史は、人類最古の繊維と言われるほど古く、天然素材の中でもたいへん上質で高級な素材とされています。

また、丈夫で、肌触りもよいため、昔から、シーツなどの寝具類や、レストランのテーブルクロスなどにも、リネン素材が多く使われてきました。

やがて、長い歴史の中で、シーツや枕カバー、タオル、パジャマなどをベッドリネン、テーブルクロス、ナプキンなどをテーブルリネンと呼ぶようになりました。

今では、麻に限らずそれぞれの用途に最適な素材として、綿や化学繊維が使われるようになり、素材に関係なく、これらを総称して「リネン製品」と呼んでいます。



## リネンサプライとは

### 一般的なクリーニング業とは違います



最大の違いは、リネンサプライ事業者がリネン製品の在庫を持つ点です。すなわち、リネンサプライのサービスとは、リネンサプライ事業者が用意したリネン類を、ご契約先に対して貸し出しをすることを言います。

ご契約者はリネン類を購入する必要がありません。

事業者は、使用済みのリネン類を、定期的に回収・洗濯仕上げをして納品。

このサイクルを繰り返すとともに、補修や補充も行います。



ホテルのタオルなどは、その施設の持ち物ではない場合が多いので、持ち帰りはご遠慮ください。

## リネンサプライサービスの流れ

### 契約



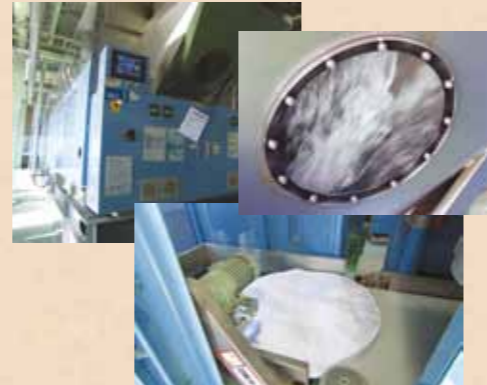
お客様とリネンサプライ事業者が契約。ご契約者のご要望を詳しく伺い、リクエストに沿った種類、サイズ、数量のリネン類を事業者が準備。数量は、業務に適したシフト数を用意。

### 入荷・仕分け



回収したリネン類は、専門のリネンサプライ工場に入荷。シーツや枕カバー、ふとんカバー、タオル類など、品種別に仕分けられます。

### 洗い・脱水



洗いの工程は、専用の大型洗濯機を使用。適切な温度管理、薬剤管理の元で洗浄・脱水が行われます。乾燥も、専用の大型乾燥機で行います。

### 仕上げ・検品



仕上げラインでは、プレス加工などの仕上げ作業と検品を、同時に行います。回収したリネン類は、連続的に検品され、不具合を発見した場合は、即座に修理・交換を行います。

### 出荷



出荷工程においても、ご契約先にお届けするまでのすべての工程で、徹底した「安心・安全・衛生管理」を行っています。

### ご契約先



ご契約者は、ホテル、レストラン、温浴施設、医療施設、エステティックサロンなど。シーツ、枕カバー、タオル、浴衣、テーブルクロス、ナプキンの他、各種ユニフォームにも対応します。

## リネンサプライのメリット



### 投資の節約

ご契約者は、リネンの購入資金をほとんど必要としないので、本来の業務や、より重要な設備への投資や、資金運用が可能となります。

### 管理作業の軽減

リネンの購入、交換、補充、クリーニング、補修、保守などは、すべて、リネンサプライ事業者が行うため、ご契約者は、これらの業務に関わること負担を大幅に軽減できます。

### 安心・安全を提供

リネンサプライ事業者は、管理者の国家資格取得義務(クリーニング師)、工場施設・機械設備等の適切な配置のもと、衛生的で適正な処理を徹底しています。

### 環境に貢献

消耗リネン製品は、形・用途を変えて、再利用されています。排水処理でも、水のリサイクルなど、環境に十分に配慮した対応を行っており、完全リサイクルも可能です。



リネン類の再利用



水のリサイクル

# ■ 日本リネンサプライ協会について

## 協会設立の目的

リネンサプライに関する技術の向上並びに知識の普及啓発を図るとともに、リネンサプライ業の健全な育成に努め、もって公衆衛生の向上に寄与する

## 協会の概要

- 1971年2月 社団法人日本リネンサプライ協会（28社）設立認可
- 2013年4月 一般社団法人日本リネンサプライ協会に移行  
会員数・・・事業者：154社、協力会社：66社

## 主な事業内容

- リネンサプライセミナー/リネンサプライ 講習会の開催  
毎年定期的にセミナー、講習会を開催。リネンサプライに関する技術の向上と知識の普及、リネンサプライ業界にとっての問題提起や提言の場として活用。
- 衛生基準認定制度 認定証の交付  
2006年より「衛生基準認定制度」を制定。協会が定める基準に適合した、高品質なサービスを提供するリネンサプライ工場に対して認定証を交付。
- 技能実習講習会の開催（初級、中級、上級）～教育の徹底  
リネンサプライ業としての専門的な人材育成を支援するために、技能実習の講習会を実施。
- 労働安全衛生手帳の配布  
従業員が常に、安心・安全・衛生を意識し、ガイドラインをチェックできるよう、労働安全衛生の取り組みを記した手帳を配布。
- 機関誌の発行  
リネンサプライに関する様々な情報、知識の提供、共有化のために年3回、機関誌を発行。
- モニター事業の実施  
2000年から、ホテル・旅館等の女性利用者を対象に、リネンサプライに関する知識の普及啓発を目的とした消費者モニターアンケートを実施。



リネンサプライセミナー



技能実習講習会



衛生基準認定証



機関誌

<http://www.jlsa.or.jp>



JAPAN LINEN SUPPLY ASSOCIATION

一般社団法人  
日本リネンサプライ協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1丁目11-9 山本ビル  
電話：03-3666-6571 / FAX：03-3666-6572